

解答範囲は、解答番号 1 から 28 までです。
(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(注) ○関東大震災Ⅱ一九三三年九月一日午前一一時五八分、関東地方南部を襲った大震災。○今和次郎Ⅱ建築家、民俗研究家。考現学の提唱者。一八八八―一九七三。○バラックⅡありあわせの材料を用いて造った粗末な小家屋。仮小屋。「公共バラック」とは、関東大震災後に被災者の住まいとして政府が主導して建設した同じ間取りのバラックのこと。○考現学Ⅱ現代の社会現象や風俗、世相を組織的に調査し、記録、考察しようとする学問。○隘路Ⅱ狭くて、通行困難な道。○スタバⅡカフェのチェーン店「スターバックスコーヒー」の略称。○ハンナ・アーレントⅡユダヤ系ドイツ人の政治哲学者。一九〇六―一九七五。

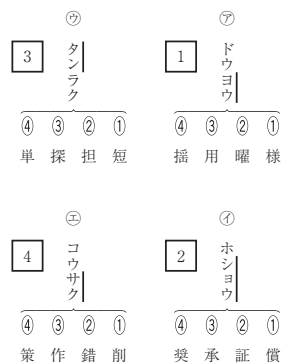
(青木淳「くつぎをつくる」による)

一般選抜入試(前期日程) 国語(1月31日)

問一 傍線部㊦㊧にあたる漢字を、次の各群のうちから一つずつ選びなさい。

解答番号

1
3
4



問二 傍線部①「スケッチ」を説明したものとして、明らかにふさわしくないものを一つ選びなさい。

解答番号

5

- ① 関東大震災の被災地に建てられた公共バラックがどのような種類、商店として用いられていたかについての克明な記録。
- ② 関東大震災の被災地に建てられた公共バラックがどのような間取りで構成されているかについての克明な記録。
- ③ 関東大震災の被災地に建てられた公共バラックがどのような素材によって造られているかについての克明な記録。
- ④ 関東大震災の被災地に建てられた公共バラックの内部にどのような物が配置されているかについての克明な記録。

問三 傍線部②「人間と物との間に現れる諸関係」を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

6

- ①さまざまな物と物とのレイアウトや距離感のこと。
- ②スケッチとして記録された人や物の形状のこと。
- ③八百屋や床屋といった用途ことに変化する部屋割りの方法のこと。
- ④数値で表された建築物の構成要素の寸法のこと。

問四 空欄 I を補うのに最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

7

- ① モノとモノとの距離を考慮しない
- ② 目に見える素材では造られていない
- ③ モノとモノとがつながりえない
- ④ 建築物という造形をもたない

問五 傍線部③「くうきをつくる」を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号

8

- ① 外観や装飾といった建築物の見た目の形を考慮には入れずに人間の心理や感情に沿うように建築を設計すること。
- ② 外観や装飾といった建築物の見た目の形が人々に対してなんらかの意味をなるべく表現しないようにしつつ建築を設計すること。
- ③ 外観や装飾といった建築物の見た目の形がその時代の人々にとって歴史的な意味や価値を持つように建築を設計すること。

④ 外観や装飾といった建築物の見た目の形が人に与える影響とは無関係に建築を設計すること

問六 空欄 X と Y を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号
9

- | | | | | |
|---|---|-------|---|------|
| ① | X | 結果として | Y | ひいては |
| ② | X | 逆に | Y | それでも |
| ③ | X | だから | Y | しかし |
| ④ | X | とはいえ | Y | むしろ |

問七 傍線部④「ソリチュード」の例として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号
10

- ① 二人の大人と会話していたが、途中から二人の話についていけなくなった。
- ② 電車のなかで本を読んでいると、気づいたら目的の駅を乗り過していった。
- ③ 町で友人を見かけたが、何となく声をかけづらくて見えないふりをした。
- ④ 公園の隅に人目につかない一角があったので、そこを自分の隠れ家とした。

問八 空欄 A 〃 C を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号
11

- | | | | |
|----|----|----|----|
| ④ | ③ | ② | ① |
| A | A | A | A |
| 住宅 | 家 | 住宅 | 家 |
| B | B | B | B |
| 家 | 住宅 | 家 | 住宅 |
| C | C | C | C |
| 住宅 | 家 | 家 | 住宅 |

問九 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号

12

① 今和次郎は関東大震災後の東京に立ち並んだバラックの間取りをスケッチしたが、それは彼が自身の建築の間取りを設計する参考のためであった。

② 実在の建築物をつくるためには、その素材や形態について考慮せざるをえないが、それらが人に与える影響を最小限にしつつ空間内外の人と人や物同士の距離感をコントロールすることが大切である。

③ 家を物理的に町に開くことは、ブライバシーの侵害とソリチュードの破壊という二つの意味での暴力につながるため、家はむしろ心理的に町に開いていくべきである。

④ 人間は、ハンナ・アーレントの言う「公的領域」に下支えされながら存在しており、各人の「私的領域」は、そうした社会的基盤の上に成り立っている。

(二) 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

【引用部分は削除しています】

(上林 曉「四国路」による)

(注)
○疎開＝空襲などによる被害を避けるため、都市部から地方へ移り住むこと。 ○願書＝狭い小路。俗世間。
○浮身を襲し＝身の瘦せるほど、打ち込むこと。 ○落魄＝志を得ず不遇なこと。 ○煩累＝わずらわしく、面倒な物事。
○沼津＝静岡県沼津市。 ○豊橋＝愛知県豊橋市。 ○年高＝年長。 ○宰領＝取りしめること。
○旭川＝岡山県三河川の一つ。 ○宇野＝岡山県玉野市の地名。高松への連絡船の発着場があった。 ○佐官＝軍隊における階級の一つ。大佐・中佐・少佐の総称。 ○喧囂＝がやがややかましいこと。また、そのさま。
○善通寺＝香川県善通寺市。 ○「道草」＝夏目漱石による長編小説。 ○いざれ＝むされるような熱気。ほてり。
○蜿蜒＝うねり曲がつて長く続くさま。 ○又銃＝小銃を三挺以上組み合わせて角錐状に立てること。 ○余儀なく＝仕方がなく。 ○たたなわって＝幾重にも重なって。 ○業病＝前世の悪業の報いであるといわれた病氣。転じて難病の意味。

問一 傍線部①「蟻地獄」という表現に用いられている比喩の種類として、最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 13
① 換喩 ② 擬人法 ③ 隠喩 ④ 直喩

問二 空欄 A と B を補うのに最も適当な組み合わせを一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① A 巡り合わせ B しんみり
② A 使命 B きつぱり
③ A 神託 B 騒々しく
④ A 機縁 B けたたましく

問三 傍線部②「私の眼には、不覚にも涙が浮んだ」とありますが、この時の「私」の心情を説明したものととして、明らかにふさわしくないものを一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① 九年間の別離を乗り越えて、小説家として一人立ちした姿を両親に見せられる喜び。
② 自身の我がままのために親さうだいたい疎遠になっていた申し訳なさ。
③ 九年の間、見て見ぬふりをして来た両親や故郷への愛情。
④ 知らず知らずのうちに追い詰められていた自分自身の境遇の苦しさ。

問四 傍線部③「私達の前の席には、……彼等が嬉々ながら話しているのを聞く」とありますが、車内のやり取りや「私」の心情として読みとれるものについて、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① 「杉本」は「お袋」を思い起させる農婦の姿を見て、「お袋に会って笑顔を見せてやりたい」という気持ちにますます駆り立てられている。
② 郷里に竹籠を背負う習慣こそないが、「私」は意外の農婦に、もうすぐ会えるはずの郷里の母親を思い出し、懐郷の情を募らせている。
③ 「年嵩の兵隊」は、自分たちが南方戦線で戦歴を挙げている間も、休むことなく農作業にいそんでいる「母親」を思い起し、家族への感謝の念を囁みしめている。
④ 赤ん坊や女房のことばかりに気をとられていた「板倉」は、意外の農婦の姿を見て、自分が母を思い出さなかったことを反省している。

問五 空欄 a ～ d のいずれかに、次の括弧内の一文が入ります。挿入すべき位置として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 17

- 「子供は待ち飽いて、ぐずっていた。」
① a ② b ③ c ④ d

問六 傍線部④「血眼というのは、その時の私の目附きを言うのだろう」とありますが、この時の「私」の状態を説明したものとして、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 18

① 前後の出来事による気持ちの浮き沈みも極き消え、荷物を残して消えた子供の行方の手掛かりが少しでもないかと必死になっている。

② 三津子の面倒を見られるように軍人と傍らの女に頼んでおいたにもかかわらず、子供が行方不明になった理不尽に対して憤っている。

③ 子供に促されるままに弁当を買いに出た隙に、子供がいなくなったことを誰かに咎められるのではないかと、とやまじさに駆られて躍起になっている。

④ 言いつけを守らなかった三津子に怒りを覚えつつも、見知らぬ土地で父親とはぐれてしまった子供を案じて、泣きそうな気持ちに陥っている。

問七 傍線部⑤「子供は臆せず私のあとについて来た。子供ながら私は頼もしかった」とありますが、その説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 19

① 初めての父親との二人旅にもかかわらず、不平や不満を言わない三津子の旅慣れた様子に安堵を覚えている。

② 迷子の直後にもかかわらず、人ごみに動ず、「私」のそばを離れない三津子に励まされるような想いを抱いている。

③ 呑気に「道草」を読んでいる女に比べて、困難な日常を立派に生きる三津子と「私」の姿を誇らしく思っている。

④ 十分な休息をとっていないにもかかわらず、母親の言いつけを守り、三津子が行儀よくしていることに感服している。

問八 この文章の内容に合致するものを一つ選びなさい。

解答番号 20

① 九年前に故郷を出立した際の「私」と家族は、未来に明るい兆しを見ていたが、九年の歳月を経るなかで、困窮し、家族の不健康にも見舞われ、都会の陋巷でつましやかに暮らしている。

② 末の子供である三津子は初めての帰郷で浮かれていたが、父親が弁当を買いに行つて姿を消すと、途端に不安になり、父親のあとを追いかける。この迷子の経験が彼女を大きく成長させる。

③ 車中で乗り合わせた三人の兵隊の会話や、連絡船の棧橋で、無表情に人波を眺めている兵士の一隊に、本土に迫りくる戦争の影におびえ、家族一同で故郷へ戻ることはもうないだろうと哀しい決意をしている。

④ 頑なに里帰りを拒んでいた「私」が、帰郷を決意して出かけた途上ででの出来事を通して故郷への思慕の念を強め、また心細くも家族の煩累のなかで生き水らえている自分自身を見出す。

〔二〕左の文章は、「和泉式部日記」の一節です。女(和泉式部)は、恋人の為尊親王(冷泉天皇の第三子)と死別し、日々嘆き悲しんでいました。そのような中で、為尊親王の弟宮である敦道親王から手紙が送られてくるようになりました。左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

かくて、しばしばのたまはする、御返りもときどき聞こえさす。つれづれも少しなくむ心地して過ぐす。また、御文あり。ことばなど少しこまやかにて、

「語らばなくさむこともありやせむ言ふかひなくは思はざらんむ

① あはれるる御物語聞こえささに、暮にはいかか」とのたまはせれば、

「なくさむと聞けば語らまほしけれど身の憂きことぞ言ふかひもなき

生ひたる蘆にて、かひなく」と聞こえつ。

思ひがけぬほどに忍びてとおぼして、昼より御心設けて、日ごろも御文とりつぎて参らする右近の尉なる人を召して、「忍びてものへ行かむ」とのたまはすれば、さなめりと思ひてさぶらふ。

あやしき御車にておはしまして、「かくなむ」と言はせたまへれば、女、いと便なき心地すれど、「なし」と聞こえさすべきにもあらず。昼も御返り聞こえさせれば、ありながら帰したてまつらむもなさけなかるべし。ものばかり聞こえむと思ひて、西の妻戸に円座さし出でて入れたてまつるに、世の人の言へばにやあらむ、なべての御さまにはあらずなまめかし。これも心づかひせられて、ものなど聞こゆるほどに、月さし出でぬ。「いと明し。古めかしう奥まりたる身なれば、かかるところに居ならばぬを。いとはしたなき心地するに、そのおはするところに据ゑたまへ。よも、ささき見たまふらむ人のやうにはあらじ」とのたまへば、「あやし。今宵のみこそ聞こえさすと思ひはべれ。ささきはいつかは」など、はかなきことに聞こえなすほどに、夜もやうやうふけぬ。かくて明かすべきにやとて、

「はかなき夢をだに見て明かしてはなにをかのちの世語りせむ」

とのたまへば、

⑤ 「よとともにぬるとは袖を思ふ身ものどかに夢を見る宵ぞなきまいて」と聞こゆ。「かろろしき御歩きすべき身にてもあらず。なさけなきやうにはおぼすとも、まことにものおそろしきまでこそおほゆれ」とて、やをらすべり入りたまひぬ。

いとわらなきことどもをのたまひ契りて、明けぬれば帰りたまひぬ。すなはち、「今のほどもいかが。あやしこそ」とて、恋と言へば世のつねのと思ふらむ今朝の心はたぐひだになし御返り、

世のつねのことどもさらに思はずはじめてものを思ふ朝はと聞こえても、「あやしかりける身の有様かな、故宮のさばかりのたまはせしものを」とかなしくて、思ひ乱るほどに、例の童来たり。御文やあらむと思ふほどに、さあらぬ心愛しと思ふほども、すきすきしや。

(和泉式部「和泉式部日記」による)

(注) ○しばしばのたまはする……聞こえさす＝敦道親王からしばしば御手紙が送られてきて、ご返事も時々はさし上げる。○生ひたる蘆＝「何事も言はれざりけり身の憂きは生ひたる蘆のねのみ泣かれて」(古今和歌六帖)を踏まえた言葉。○思ひがけぬほどに＝敦道親王は女が思いもかけないときに。○右近の尉＝敦道親王の側近で、宮のために奔走する人物。○かくなむ＝これこれで伺いました。○「なし」と聞こえさすべきにもあらず＝「おりません」と申し上げるわけにもいかない。○妻戸＝建物の隅にある両開きの板戸。○はかなき＝はかない。○よとともに＝「夜になるとすぐに」と「何かにつけていつも(世とともに)」とをかける。○なさけなきやうにはおぼすとも＝思いやりのない仕打ちだとお思いになつても。○すべり入りたまひぬ＝女がいる御簾の内にすべり込むようにお入りなさった。○故宮＝為尊親王のこと。

問一 傍線部①「あはれなる御物語」とは、具体的にどのような話、もしくは物語ですか。最も適当なものを一つ選びなさい。

解答番号 21

① 為尊親王の思い出などのしみじみとした話。
② 為尊親王を亡くした後の悲しく寂しい日々話。
③ 「伊勢物語」を始めとする趣深く雅な歌物語。
④ 為尊親王の供養になりそうな尊い仏道の物語。

問二 傍線部②「かひなくや」とありますが、女がそのように言った理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 22
- ① 当時の女性は、学問ばかりでなく本に書かれたことについても語り合うべきではないとされていたから。
② 亡くなった為尊親王との楽しい日々を思い出したところ、今となつては何の意味もないから。
③ 悲しみにうち沈んで泣いてばかりいるので、到底、敦道親王のお相手はできそうもないから。
④ 歌人としての能力が衰えてしまい、敦道親王に披露するような歌を詠むことができないから。

問三 傍線部③「ものへ行かむ」の「む」の文法的意味として、最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 23
- ① 推量 ② 意志 ③ 仮定 ④ 婉曲

問四 傍線部④「いと使なき心地」とありますが、女がそのような気持ちになった理由として、最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 24
- ① 敦道親王の訪問は突然のこと、高貴な身分の人を迎えるための準備ができていないから。
② 敦道親王の訪問は突然のこと、女は求愛に応じる心の準備ができていなかったから。
③ 敦道親王が粗末な車に乗ってきたので、年老いた自分を見下していると思ったから。
④ 敦道親王が粗末な車に乗ってきたので、経済的に困窮しているのかと思ったから。

問五 傍線部⑤「古めかしう奥まりたる身」とありますが、誰のことですか。最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 25
- ① 女 ② 為尊親王 ③ 敦道親王 ④ 右近の尉

問六 傍線部⑥「よとともに……宵々なき」の和歌に用いられた修辭法の説明として、最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 26
- ① 「ぬる」は、「寝る」と「濡る」の掛詞である。
② 「よとともに」は、「宵」の序詞である。
③ 「宵」は「袖」の縁語である。
④ この和歌は四句切れである。

問七 この文章の内容に、合致しないものを一つ選びなさい。

- 解答番号 27
- ① 敦道親王は粗末な車に乗って密やかに、突然女の家をお訪ねになった。そして、「これこれで伺いました」と、人を介さず、女に直接おっしゃった。
② 女と一夜を共にした敦道親王は、「今朝の心はたくひだになし」と、女への思いが今までの恋愛とは全く比べようもない程に激しいものだと言った。
③ 敦道親王の「恋と言へば世のつねのと思ふらむ」という歌に対し、女は「世間なみのありふれた恋愛とは少しも思われません。今朝初めての思いを味わっている私なのですから」という旨の返歌を申しあげた。
④ 敦道親王と一夜を共にした女は、「為尊親王はあはれどに愛おしんで下さったのに」と思い乱れるが、一方では敦道親王からのお手紙を待つことに気づき、自らの心の変化に驚いている。

問八 この文章の作者である和泉式部は、一条天皇の中宮である彰子に仕えていたことがありますが、同じく彰子に仕えていた女性を書いた作品として、最も適当なものを一つ選びなさい。

- 解答番号 28
- ① 「枕草子」 ② 「十六夜日記」 ③ 「源氏物語」 ④ 「狭衣物語」